

第30回 地域医療現地研究会

雲の上の町

# ゆすはらから 生きる仕組みを考える

～地域資源を活かした地域包括ケアシステム～



平成28年

開催日

5月20日(金)・21日(土)

会場

高知県高岡郡梶原町

- ◆ ゆすはら座 (開講式・概要説明)
- ◆ ゆすはら夢・未来館 (地域医療交流会・全体討論・閉講式)

研究施設

梶原町立国民健康保険梶原病院・梶原町保健福祉支援センター  
社会福祉法人カルスト会

主催：公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会  
公益社団法人 国民健康保険中央会  
高知県国保地域医療推進協議会  
高知県国民健康保険団体連合会

## 梶原町立国民健康保険 梶原病院・梶原町保健福祉支援センター

梶原町は高知県北西部、四国カルストのふもとに位置し、町の中心部の標高は410mで冬には雪が積もることも。そんな町の中に梶原病院はあります。梶原町の医療の特徴は、梶原病院に併設する形で梶原町保健福祉支援センターがあることです。玄関が共通であり一つ屋根の下に医療機能を担う施設と保健・福祉機能を担う施設が併存しているというのは、住民にとっても、職員にとっても理にかなっています。保健・医療・福祉・介護がいつでも連携しあえる、理想の「地域包括医療・ケア」が展開できています。梶原病院の目指す地域医療としては、①良質なプライマリケア、②1.5次救急、③保健予防活動の3つを大きな柱として掲げています。

- ①良質なプライマリケアの提供として、まずはどんな患者さんであっても疾患に偏りなく何でも診る、状況に応じ適切に専門医に相談するというスタンスで診療にあたっています。
- ②1.5次救急とは造語ですが、24時間365日いつでも救急患者受け入れ可能としており、救急車もよほどのことがない限りすべて受け入れています。一般的な初期救急対応から、外傷時の縫合処置(小外科)、腸閉塞におけるイレウス管挿入、気胸患者のトロッカー挿入など、当院で対応できることは当院で行い、対応困難であれば適切に後方病院につなぐという医療体制となっています。
- ③保健予防活動においては、保健福祉支援センターと連携しながら、予防接種、各種健康教室、事業所への講演、すこやか健診(小中学生の採血と小児期からの健康教室)などに取り組んでいます。保健福祉支援センターと協働することで、特定健診が始まって以来の健診受診率は75%前後と県内ダントツ1位といった数字にも表れています。  
さらには6年前から町内の各集落を病院職員で訪問し地区座談会を開催しています。

梶原病院の使命は、住民の「住み慣れた地域で暮らし続けた」という思いを支えていくことだと考えています。また、地域医療とは、住民を支えるだけでなく住民からも支えられる病院づくりであり、住民とともに作り上げていく地域づくりであると思います。



(左)梶原町保健福祉支援センター・(右)梶原病院

## 社会福祉法人カルスト会

昭和57年3月16日、社会福祉法人梶原町身体障害者福祉会として設立。平成2年5月12日に社会福祉法人カルスト会に名称変更しました。周囲は山々に囲まれ、四季折々の風景と高原ならではの清々しさを感じられます。基本理念である「誠実・敬愛・信頼」のもと、安全・安心・良質なサービス提供をしています。

事業内容は、第一種社会福祉事業として、障害者支援施設「梶原みどりの家」の経営、特別養護老人ホーム「梶原ふじの家」の設置経営を。また、第二種社会福祉事業として、障害福祉サービス事業、老人デイサービスセンター「梶原ふじの家」の経営、老人短期入所事業、指定居宅介護支援事業所と指定特定相談支援事業所の経営を行っています。



梶原ふじの家



梶原みどりの家